

募集

保健所保健総務課 臨時職員

☑ 歯科衛生士の資格を有し、病院や診療所で勤務経験のある方＝1人
 勤務期間 9月1日～10月31日の月～金曜日(週5日勤務、祝休日を除く)
 勤務時間 午前8時30分～午後5時
 勤務場所 保健総務課(市庁舎7階)
 内 歯科保健に関する普及啓発事務・統計事務、医事・薬事に関する電話・窓口対応事務等
 報酬 時給1450円(別途交通費支給)
 選考書類、面接

☑ 履歴書(3か月以内に撮影した写真を貼付)と職務経歴書(様式自由)を各1通ずつと、歯科衛生士免許証のコピーを同封のうえ、8月15日まで(必着)に郵送で保健総務課(〒194-8520、森野2-2-22)へ。
 保健総務課 ☎722・6728

お知らせ

住宅の耐震化を応援します

【木造住宅耐震相談会】
 ☑ 市内にある昭和56年5月31日以前に着工された戸建ての木造住宅(賃貸用の住宅は除く)を、自らが所有している方

☑ ①9月7日②10月5日、いずれも木曜日午後2時～4時
 場 ①市庁舎②町田市民フォーラム
 内 木造住宅の無料簡易耐震診断と耐震化助成制度の説明、個別相談、申請の受け付け
 定 各50人(申し込み順)
 申 電話で住宅課(☎724・4269)へ。

8月は「道路ふれあい月間」

「道路ふれあい月間」を機会に、一人ひとりの心掛けで、すべての人が笑顔で歩ける道路環境を目指しましょう。
 【みちピカ町田】
 市が取り組む道路愛護運動です。安全で快適な道路環境のために行動

する方に、ステッカーを玄関先に掲示していただいています。リーフレットやステッカー(=右上)は道路管理課で配布しています。



【アダプト・ア・ロード事業】

市と協定を結んだ市民活動団体の活動を通して、市が管理している道路施設や道路用地等をより良い環境にしようというものです。約45団体の皆さんが市と協定を結び、清掃活動や花壇の整備を行っています。

道路管理課 ☎724・3257

「町田市新5ヵ年計画 2012～2016年度の取り組み結果」がまとまりました

経営改革室 ☎724・2503

市では、将来のあるべき姿を見据え、2012～2021年度の10年間に、何を目標に、どのようにまちづくりを進めていくのかを示す町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」と、その実行計画である「町田市新5ヵ年計画」を2011年12月に策定し、2012年度から取り組んできました。

この度、「町田市新5ヵ年計画 2012～2016年度の取り組み結果」がまとまりました。この中から、「重点事業プラン」と「行政経営改革プラン」は取り組みの一部を、「財政見通し」は計画額と5ヵ年の合計決算額との比較分析を紹介します。

新5ヵ年計画のすべての取り組みなど、詳細は、各市立図書館にある冊子、または町田市ホームページをご覧ください。

市HP 新5ヵ年 検索

計画の達成状況

「重点事業プラン」で示す88事業(2事業中止)のうち、目標を達成しているのは62事業(72%)でした。
 「行政経営改革プラン」で取り組む43項目のうち、目標を達成しているのは32項目(74%)でした。

重点事業プランの主な成果

基本目標Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる

市立保育園の建て替えや20年間期間限定認可保育所の整備支援等により、保育サービス定員を2371人増やし、7788人となりました。

「常設型冒険遊び場」を2014年度に芹ヶ谷公園、2015年度に鶴川中央公園の2か所に整備しました。

子どもセンターについて、「ただON」と「まあち」のオープンにより、5館構想の整備が完了しました。

基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

町田駅周辺の魅力をより一層高めるため「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定しました。

市内事業者の起業を支援する施設として、町田新産業創造センターを設立しました。

観光交流の拠点として、小野路宿里山交流館を整備しました。

基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる

地域の高齢者支援として、見守り支援ネットワークを新たに26の地域で構築し、全部で28の地域へと広げました。

介護施設を整備し、特別養護老人ホームの定員数を457人増やし、2059人に拡大しました。

忠生市民センターと成瀬コミュニティセンターの建て替えを行いました。

基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

多摩都市モノレールの町田方面延伸や小田急多摩線延伸について、国や東京都へ働きかけを行いました。国の交通政策審議会の答申で、「『東京圏の都市鉄道が目指すべき姿』を実現する上で意義のあるプロジェクト」とされました。

相原駅西口、南町田駅北口の駅前広場を整備しました。

JR横浜線以南地域で容器包装プラスチックの資源化を開始しました。また、熱回収施設等整備運営の事業者を決定しました。

行政経営改革プランの主な成果

こんな行政経営改革に取り組みました!

2017年3月に、「町田市地域経営ビジョン2030」を策定しました。

全国の市区町村で初めて、複式簿記・発生主義の考え方に基づく新公会計制度を導入し、2013年度に、町田市版財務諸表が完成しました。

業務の見直し等により、職員定数を2195人とし、67人の削減を実現しました。

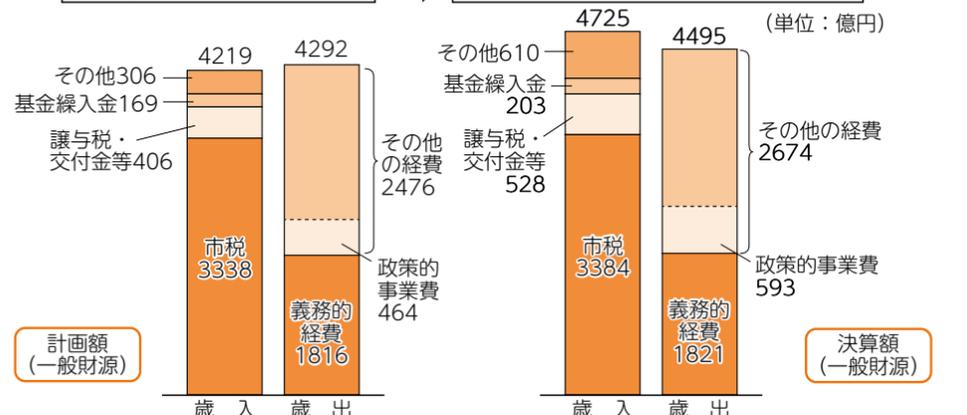
2013年度にコンビニエンスストアで交付できる証明書を2種類から6種類に増やすとともに、取り扱いコンビニ事業者を1社から4社に増やしました。

2015年度から自治体間比較を活用した業務改革に着手し、同一法令に基づく基幹業務について、業務のプロセス、コスト、サービス等を他自治体と比較し、業務改革を進めています。

財政見通しと5ヵ年合計決算額との比較

計画額に対する2012～2016年度(平成24～28年度)の5ヵ年合計決算額(※)は、以下のとおりです。※2016年度(平成28年度)は決算見込額になります。

(計画額)歳入-歳出 △73億円 → (5ヵ年合計決算額)歳入-歳出 +230億円



歳入・歳出ともに、5ヵ年合計決算額が計画額を上回りました。歳入は、徴収率の向上等により、市税が計画額を上回るなど、すべての項目で計画額を上回りました。そのため、歳出は、その他の経費のうち、政策的事業費などで、計画額を上回ることができました。義務的経費は、ほぼ計画額どおりとなりました。